

【別紙2】

大阪市立生江学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付・加算配付**】実施報告書 (補足説明資料)

取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

対話や交流等、多様な言語活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようとする。また、読書環境のさらなる充実を図り、読書習慣の定着に努める。

①取組内容

お話しの実施

②取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

B、お話しは、コロナウィルスの感染拡大により、実施できなかったが、ウリナラ課外授業により児童の自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。

取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に学びに取り組む機会を充実させる。また、到達度テスト等を用いて、各教科における観点別評価を効果的に行い、児童一人ひとりの学力向上を図る。

①取組内容

体験を中心とした社会見学を行う。各教科の観点別評価を行う。

②取組に対する達成状況（A～D）及びその評価理由

B、体験活動を通して児童に自主的・自発的に学ぶ姿勢を育てることができた。また、各教科の観点別評価を生かして、指導に生かすことができた。

総論

① 年度目標の達成状況、総評

- ・「学校は情報発信をよく行っている」と答える保護者の割合が 65%という高い割合となった。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合が 80.0%と高い割合となった。
- ・年度末の校内調査（図書室の貸し出し状況）において「一週間に 1 冊は本を読んでいる」児童の割合を増加させることができた。
- ・朝の学習が定着し、基礎・基本の習得につながり、また、到達度テストで個々の課題の把握することもできた。

② 学校協議会における意見

児童に対してのそれぞれの取組内容によって教育効果が出ていることが、児童の様子から見てとれる。